

ライフデザイン学科

教育目標

自然と共生し、良好な家族・近隣関係の中で文化的に豊かで美しい生活を、自分の一生の中で追求するだけでなく、これを社会的に実現する意欲と能力をもった人材を育成する。そのために、人やいのち、自然、そして美しいモノやカタチとつながる感性を養った上で、世の中を「生活者」の視点から体系的にとらえる広い視野を養成する。卒業後は、学びの成果を活かし、企業、NPO、行政機関などにおける多様な職務を通じて「21世紀の新しいライフスタイル」を提案することで社会に貢献することが期待される。

学科が求める学生像

- 1 地域や家族のことに興味がある人
- 2 人と自然が共生するエコライフに関心がある人
- 3 美しい暮らしを提言したい人
- 4 本当に豊かな生活とは何かについて考え、実践したい人

4年間の学び

- 1 年次には、ライフデザインの基礎を学ぶ。
- 2 年次には、ライフデザインの3つの領域(家庭・地域・社会、自然環境)を学ぶ。
- 3 年次には、ライフデザインの3つの領域をさらに深める。
- 4 年次には、学びを統合し、ライフデザインの実践力を養う。

履修モデル

ライフデザイン学科では、1・2年次で幅広い分野への興味関心を高め、基礎的な知識の修得を目指します。その上で、3年次以降に自分自身の学びの中心を意識しながら、新たなライフスタイルについての考察を深め、「真の豊かさ」を追求していきます。

以下に履修モデルとして3パターンの「学びの中心」と各パターンにおける学年ごとの代表的履修推奨科目を示します。これらの履修モデルを参考にしながら履修計画を立てていきましょう。ただし、1・2年次では、先に述べたとおり幅広い分野へ眼を向けることを意識して、表中の科目以外についても積極的に履修するようにしてください。

科目同士の関連性についてはカリキュラムツリーを参照してください。また卒業要件として、以下に示した科目のみでなく、指定単位数を修得する必要があることに注意してください。

1 家族と地域の視点を中心に学ぶ

学年	全学共通科目	専門教育科目
1年	大妻教養講座 コンピュータ基礎A キャリアデザインI 英語IA・IB ほか	感性教育 生涯発達心理学 生活経営学 市民生活と法 生活情報論 仕事の社会学 ほか
2年	女性と健康 スポーツA 地域と文化 ほか	比較地域文化論 家族心理学 家族社会学 消費生活論 家族法 ほか
3年	家族と現代社会 ほか	ゼミナールI-A・I-B ライフデザイン演習I・II 暮らしと社会保障 暮らしとファイナンス ヨーロッパ現代社会論 ポピュラーカルチャーの国際比較 消費者と法 コミュニティと福祉 ほか
4年		ゼミナールII-A・II-B 卒業研究 ライフデザイン演習III ライフデザインの理論と実践 家族と文化の心理学 ほか

2 自然とのかかわり方を中心に学ぶ

学年	全学共通科目	専門教育科目
1年	大妻教養講座 コンピュータ基礎 A キャリアデザイン I 英語 I A・I B ほか	感性教育 生命論 ヒトと生態系 日常生活と環境 自然体験論 I ほか
2年	女性と健康 スポーツ A 地域と文化 ほか	地域社会と環境 生活環境と健康 グリーンツーリズム体験実習 農業体験学習 ほか
3年	生命の科学 科学と環境 ほか	ゼミナール I -A・ I -B ライフデザイン演習 I・ II 生物環境学演習 自然体験論 II 都市と公園 NPO・市民参加論 グラフィックデザイン演習 ほか
4年		ゼミナール II -A・ II -B 卒業研究 エコロジカルライフ論 ライフデザイン演習 III 環境教育・思想論 家族と文化の心理学 ほか

3 モノや生活空間との関係を中心に学ぶ

学年	全学共通科目	専門教育科目
1年	大妻教養講座 コンピュータ基礎 A キャリアデザイン I 英語 I A・I B ポピュラーカルチャーの世界 ほか	感性教育 住居学概論 ほか
2年	女性と健康 スポーツ A 経済と現代社会 ほか	住文化論 生活と工芸 生活とデザイン インテリアデザイン論 エコロジカルライフ演習 インテリアデザイン製図演習/インテリア空間デザイン演習 住空間デザイン演習 プロダクトデザイン演習 生活文化史 ほか
3年	美術の世界 ほか	ゼミナール I -A・ I -B ライフデザイン演習 I・II 生活と色彩 住空間デザイン論 工芸デザイン演習 インテリアデザイン応用演習 グラフィックデザイン演習 余暇生活論 ほか
4年		ゼミナール II -A・ II -B 卒業研究 デザイン文化論 情報デザイン演習 ライフデザイン演習 III ほか